

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年03月18日

計画の名称	誰もが移動しやすいまちの実現												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和02年度 (1年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	那覇市												
計画の目標	<p>那覇市は、官公庁や業務、商業施設などが集積するなど中南部都市圏の中心都市であり、空港、港を有する沖縄県の玄関口である。それに伴い、沖縄本島の幹線道路網および公共交通網の要衝となっており、多くの県民や観光客などが訪れる観光の中心都市でもある。市内の道路ネットワークは、市町村間を結ぶ広域的幹線道路として南北方向に国道58号、国道330号が縦断し、東西方向には国道329号が横断しており、本市の外周を循環するように県道那覇系満線が伸びている。しかしながら、隣接する市町などからの交通が集中するなどの理由から、中心市街地で日常的に渋滞、混雑が生じている。本市の公共交通機関は、沖縄都市モノレール、路線バス、タクシー等が運行しており、令和元年10月に延長開業したモノレールは、今後もさらなる利用者増が見込まれている。また、路線バスは市内外路線を運行しているが、ルートや経由地が複雑な路線構造となっており、重複路線も多く、分かりにくいバス路線網となっている。このような背景から、様々な交通問題を改善するとともに、人中心のまちづくりへの転換を図り「誰もが移動しやすいまちをつくる」ことを目的に、LRTなどの基幹的公共交通の導入や路線バスネットワークの再編などの具体的な施策パッケージや、地域ごとの施策、スケジュール、目標値などを設定した第二期那覇市総合交通戦略を策定する。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7	A	7	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29)	中間目標値 (R6)	最終目標値 (R12)
1	那覇市内における公共交通利用者数を2,287万人/年(H29)から3,788万人/年(R12)に増加 那覇市内における公共交通利用者数を確認する。(那覇市統計書より)	2287万人/年	3109万人/年	3788万人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市交通	沖縄	那覇市	直接	那覇市	-	-	第二期那覇市総合交通戦略策定業務	那覇市総合交通戦略の策定	那覇市						7		未策定
												小計						7	
											合計						7		